

# わが社も同級生

～ 創業120周年の会員企業ご紹介～

## 大鋼興業株式会社

やまだいっお  
代表取締役会長 山田逸雄さん

野球で培われた打たれ強さ  
お客様第一主義を貫く

明治24年4月15日に初代大木元三郎が呉で金物・洋鐵業を開業。呉海軍工廠の御用商としてスタートしました。

昭和22年に広島方面の営業を分離し、当社の前身となる大木鋼機株式会社を発足。その初代社長が私の父、山田村一です。終戦を迎え、焦土と化した広島の復興のため、建築・土木鋼材の供給に尽くしてきました。

私自身は次男坊の気楽さで三津田高校時代から野球に打ち込み、選抜で甲子園に出場。関西学院大では関西6大学リーグで4度優勝を経験し、大学選手権にも出場しました。川崎重工に入社してから五番捕手として都市対抗に出場し、ベスト4まで勝ち進みました。

川崎重工では8時から16時まで仕事をし、それから野球の練習。練習後にまた仕事に戻ることもしばしばでした。この時、野球だけでなく仕事にも本気で取り組んだ経験が私の礎になっています。好きな言葉は「百折千磨」。私の打たれ強さは野球が培ってくれたものだと思います。

選手引退後も川崎重工に骨を埋めるつもりでいましたが、父に家業を継ぐよう呼び戻され、昭和33年に帰広。倉庫勤務を手始めに、バイクでの営業活動や金融機関詣で等を勉強した後、経営全般を任せられるようになりました。

昭和42年に父が他界し、社長に就任した兄が昭和44年に呉大木鋼材の社長専任となったのを機に、次男の私が三代目の社長に就きました。帰広当時1億だった年商も皆様のおかげでピーク時には50億に拡大しました。

しかし、昭和62年に取引先の倒産で10億円もの不良債権が発生。当時の新日本製鐵広島支店長だった故・小野忠彦さんが事態收拾に力を尽くしてください、三井物産や伊藤忠商事のバックアップもあり、最大の経営危機を回避できました。倉庫を売却し、どの商社や金融機関にも金銭的な迷惑をかけることなく危機を乗り切ることができたのも、手を差し伸べてくださった方々のおかげです。人に助けられ今があると、ただただ感謝の気持ちしかありません。

現在は収益力を重視した堅実経営に切り換え、今年8月には42年務めた社長から会長に代わりました。120周年を迎えたこれからも、当社の創業以来の精神「お客様第一主義」を守り、堅実に人様のお役に立つ会社であり続けたいですね。



山田逸雄会長



昭和40年代、当時の本社社屋前で

- 社名 / 大鋼興業株式会社
- 代表者 / 代表取締役社長 山田眞弓
- 所在地 / 広島市南区宇品西2丁目6番42号
- 創業 / 明治24年4月
- 資本金 / 2,000万円

- 事業内容 / 鉄鋼一・二次製品、特殊鋼、非鉄金属、機械器具金物の販売。新日鐵スチールハウス工法部材供給。鋼構造物工事業。とび・土木工事業。倉庫業ほか。
- 従業員 / 11名

## 森信建設株式会社

もりのぶひでき  
代表取締役 森信秀樹さん

伝統に甘んじることなく、常に革新を図り  
地元密着で身の丈経営に徹す

広島商工会議所が設立されました明治24年に曾祖父である森信秀之助が森信組を創業しました。当時は数少ない土木建築請負人として、陸軍第五師団、文部省など主に公共工事を担っていました。後に愛媛県や高知県の港湾土木工事に携わり、昭和16年には官立広島師範学校(現広島大学附属東雲中学校等)の一連の校舎群を施工させて頂きました。

昭和32年に法人化、祖父五夫が代表取締役に就任した頃には宇和島以南は分社化し、広島を中心に建築工事にシフトしていきます。昭和46年父毅(現会長)の時に森信建設株式会社と社名変更。徐々に民間工事の割合を高め、創業100周年にあたる平成3年に私が社長に就任して以降ほぼ100%となりました。現在では木造戸建住宅、マンション、工場、店舗、医療介護施設など幅広い用途の施工のほか、土地の有効活用や外断熱工法などのエコ建築、古い建物のコンバージョン(用途変更・再生)の提案などを行っています。小さいながらもワンストップ・トータルソリューションという一貫した提案・受注・管理体制がお客様には重宝されているのではないかと考えています。

祖父や父からは、折に触れ技術偏重からマーケットインの到来の予見や幅広い人脈づくりの大切さを助言され、大学は商学部に進みました。在学中に中小企業診断士の資格を取り、続いて建築の専門学校に通い一級建築士の資格も取りました。他人の飯を食う経験を求め大阪船場の現金衣料品卸に就職。現金正札販売の大切さ・大変さと、それから得られる顧客の信頼感や安心感などを学びました。帰広してすぐ広島青年会議所に入会し、目先の仕事だけでなく将来の広島の活性化に汗を流す大切さなど学ぶと共に生涯の友や幅広い人脈を作ることができました。

家業というのは家と職場が同じ空間にありますので自然と親の背中を見て育ちます。五代目となるはず?の長男には、親と同じ土俵で勝負するのではなく自分の得意分野に会社を引き込んで暖簾を継承してくれると伝えています。それまで受けたバトンを無事渡していくのが私の使命です。

創業120年を機に新たに成長産業といわれる介護事業を立ち上げます。まだまだ進化しつづけ、何事にも果敢に挑戦を続けていくつもりです。



森信秀樹社長



昭和10年当時「富士見町の西洋館」と言われた本社と自宅にて。写真左が森信毅・現会長

- 社名 / 森信建設株式会社
- 代表者 / 代表取締役 森信秀樹
- 所在地 / 広島市中区富士見町15番1号
- 創業 / 明治24年4月
- 資本金 / 2,000万円
- 事業内容 / 総合建設業(建築工事・土木工事)
- 従業員 / 14名